CPRM（VRモード）対応

９インチDVD&TVマルチモニター

KH－TDT900

取扱説明書

最終ページ保証書付

Ver. 1.0.0

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

電源を入れる前に…	ディスク用のピックアップ保護カバーを取り外してください。 ディスクトレイを開けると中央部にピックアップ保護用カバーが取付けてあります。 取り付けたままで電源を入れると機器の破損につながります。 電源を入れる前に必ず取り外してください。
	電源起動時には主電源スイッチをONにしてください。 主電源スイッチがOFFになっているとすべての操作は受け付けません。
テレビを見る前に…	テレビをご覧になる前にアンテナの設定が必要になります。アンテナが接続されていないとテレビをご覧になることができません。 アンテナは受信環境の良いところに設置してください。 地域によっては受信環境の悪い場所もございます。 ご家庭のアンテナを使用される場合は地デジ用アンテナに接続してください。
	テレビを初めてご覧になる前にはスキャン操作が必要です。 スキャン操作はお使いの地域で受信可能な放送局を探し、登録する作業です。 この操作を行なわないとテレビ放送を受信することはできません。 双方向通信、データ放送サービスには対応しておりません。
各種メディアを再生する前に…	市販のDVD/CDディスク以外のレコーダーやパソコンなどで作成したデータの再生についてご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐に渡るため、本書に記載された対応形式であっても再生できない場合もあります。 デジタル放送を録画したCPRMディスクはVRモードのみ対応可能です。 CPRMディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。 ※ブルーレイディスクは再生できません。

目　次

はじめに

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用していただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。本取扱説明書の最終ページに製品保証書が付いております。本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。

セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。

●本体(DVD側)×１
●本体（TV側） X1
●車載用バッグ（DVD側用） ×１
●車載用バッグ(TV側用) ×１
●車載用シガー電源アダプター ×１
●車載用アンテナ ×１
●専用AV接続ケーブル ×１
●リモコン ×１
●単４形乾電池 x2
●ミニB-CASカード ×１
●アンテナ変換ケーブル ×１
●AVケーブル ×１
●家庭用AC電源アダプター ×２
●取扱説明書 ×１

使用上の注意

●本製品のACアダプター／シガーアダプターの電圧がコンセントの電圧と合っているかを確認してください。
●クリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
●長期間使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。変形や故障の原因となります。静電気の多い場所やほこりの多い場所、風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所でのご使用はおやめください。また、濡れた手で操作をしないでください。ショートによる故障や感電の原因となります。
●分解や改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解や改造が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
●落としたり、踏んだり、加重や衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、電源アダプターをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
※お問い合わせ先は本書巻末、及び保証書に記載してあります。
●USB端子を搭載しておりますが、ストレージ以外の製品（通信用装置など）を接続して使用することはできません。またストレージであっても、USBからの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため、使用できない場合があります。
●液晶パネルは高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
●小さなお子様がご使用される場合には本製品の取扱を十分に理解した大人の監視、指導のもとでご使用願います。

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
⚠危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
⚠警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
⚠注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
禁止	"⊘" は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	"●"は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	"△"は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 :重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 :傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3 :物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

異常を感じたとき

⚠警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店またはサポートセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサポートセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサポートセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店、またはサポートセンターに交換をご依頼ください。

使用するとき

●修理・分解・改造しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサポートセンターにご依頼ください。

●内部に異物を入れないこと

異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れないこと

接触禁止

感電の原因となります。

●水に濡らしたりしないこと

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしないようご注意ください。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

●飛行機内で使用の際は、航空会社の指示に従うこと

指示

航空法で、離着陸時に使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運航装置に影響を与え事故につながる恐れがあります。

●ディスク用のピックアップに眼を近づけたりレーザー光を見ないこと

禁止

レーザー光は見られないようになっていますが、万が一故障や異常によってレーザー光が発光された場合に見つめたりすると視力障害の原因となります。

●歩行中や乗り物を運転しながらの使用はしないこと

禁止

交通事故の原因となります。

⚠注意

●変形、ひび割れ、接着剤で補修、シール等貼付けのディスクは使用しないこと

禁止

ディスクは高速回転します。飛び散ってけがや故障の原因となります。

●ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量を上げ過ぎないこと

禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

●ディスクが回っているときにディスクには触れないこと

禁止

けがや故障の原因となります。

●電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

●液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと

禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

設置するとき

⚠警告

●屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所のは設置しないこと

禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど肌にふれないないこと

禁止

低温やけどの原因となります。
（低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。）

⚠注意

●温度の高い場所に置かないこと

禁止

直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります・

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しないこと

禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機の移動させる場合は、ACアダプターやその他外部接続線をはずすこと

指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

ACアダプター/シガーアダプターについて

警告

●ACアダプター/シガーアダプターを分解、改造、修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。

● ACアダプター/シガーアダプターは付属のものを使用すること

禁止

指定以外のACアダプター、シガーアダプターを使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

●アダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと

指示

火災・感電の原因となります。

●シガーアダプターはDC12V～24V対応です。電源変換器は使用しないこと

禁止

電圧変換器(DC-DCコンバータ)を使用すると故障の原因になることがあります。

●時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること

指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

注意

●ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと

指示

感電の原因となります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

●付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

使用上のお願い

取扱いについて

●液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
●引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
●殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
●ふだん使用しないときは、ディスクを取り出し電源を切っておいてください。
●長期間使用しないときに機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

置き場所ついて

●本機の内部に熱がこもるため、布団やじゅうたん、カーペット、座布団など熱を逃がしにくいものの上に置いて長時間使用しないでください。
●車内に設置する場合は、不安定な場所や傾いている所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

●本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

レーザー製品について

●本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店にご依頼ください。
●本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
●本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

結露(露付き)について

結露(露付き)とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。同じような現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

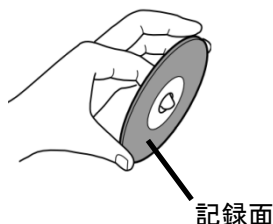
●結露に注意する
・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき
・夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高い場所に移動したとき
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

●結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する
結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

DVDやCD及び各種メディア再生について

●ピックアップのヘッド(ディスクを読み取るレンズ)には触れないでください。
●ディスクトレイにはDVD、CD以外の異物を挿入しないでください。また、USBスロットとSDスロットに異物を挿入しないでください。
●ディスクをセットする時は1枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のターンテーブルにカチッと音がするまで差し込んでください。
●CD−R/RW、DVD−R/RW及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものがあります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。
●本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
●大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり、認識できない場合があります。
●本機で再生できるCPRMディスクはVRモードのみです。
●デジタル放送を録画したVRモード･CPRMのディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。
●USB端子に接続できるのはUSBメモリストレージです。通信機器などPCで使用するデバイスには対応しておりません。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクを持つ時は、図のように記録部分には触れず、ディスクの端を挟んでお取り扱いください。指紋、ホコリ、傷等によりディスクの読み込みできない場合があります。
●ディスクのラベル面にボールペン等で書き込まないでください。
●ディスクに紙やシールを貼らないでください。
●ディスクを曲げたり落としたりしないでください。
●ディスクについた指紋やほこりなどの汚れは、柔らかい布でディスクの中心から外周に向かって軽く拭きとってください。

メモリーカードについて

●メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。

●大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●メモリーカードの取扱い方については、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

●通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

●メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

●メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。

●強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。

●高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。

●メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。

●メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。

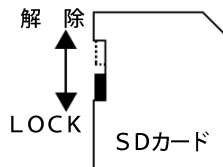
●直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。

●ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。
破損、故障の原因となります。

●本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。

●メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

●大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

テレビ受信について

●ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合はスキャン操作をしてください。
スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために 必ず必要な設定です。
●スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局がかわる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
●本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。
海外ではご使用になれません。
●建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

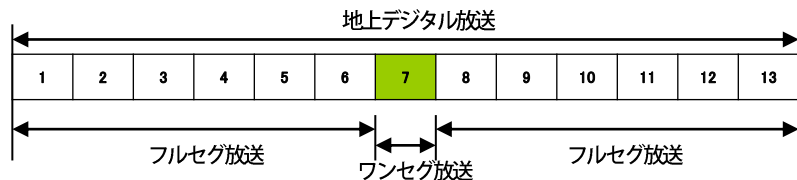
地上デジタル放送(フルセグ放送)について

地上デジタル放送は地上のUHF放送(13～62ch)の周波数帯域を使った放送です。
地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割しそのうち12個のセグメントを利用してフルセグ放送をしています。最新のデジタル技術により高画質ハイビジョン放送、多チャンネル放送が可能です。さらに音声信号を効率よく圧縮して送ることにより原音に近い高音質な音が楽しめます。

※本製品は地上デジタル放送の双方向通信、データ放送サービスには対応しておりません。

ワンセグ放送について

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。
地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。

詳しくは社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)をご覧ください。
放送エリアの目安は(http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA_B/)にてご確認いただけます。

フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも
受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

地上デジタル放送視聴中のご注意

- 地域により受信可能な放送局は異なります。必ずご使用する地域で放送局のスキャン操作を行い受信できる放送局を設定してください。
  放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承願います。
- 移動中に電波が弱いエリアに入ると音声や映像が乱れたり、画像の静止、黒い画面になることがあります。デジタル放送の場合、アナログ放送のように乱れた映像でもかろうじて視聴できるというような状態にはなりません。
  アンテナ角度の調整や電波状態の良い場所に戻ることで改善されます。
- デジタル放送の場合、実際の時刻と番組にタイムラグ(時間のずれ)が発生します。
  正確な時刻どおりに番組が始まらない等は、放送特性上のものであり機器の故障ではありません(数秒の遅れが発生します)。

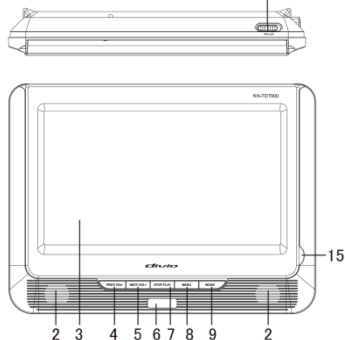
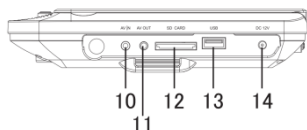
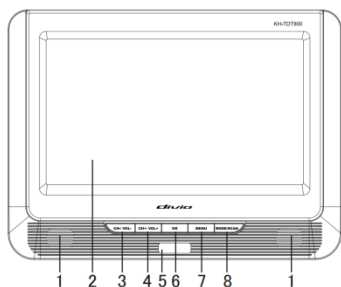
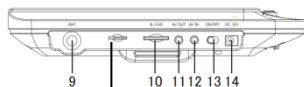
スタンドの取扱について

- 本体裏面にあるスタンドの出し入れ時は無理な力が加わらないように取扱にご注意ください。

1.本体・リモコン各部名称・機能

本体の各部名称・機能

パネルの名称1(DVD側)

右側面

1. 電源スイッチ(ON/OFF)
2. 内蔵スピーカー
3. LCD画面
4. スキップ-/音量-ボタン(PREV/VOL-)
5. スキップ+/音量+ボタン(NEXT/VOL+)
6. リモコン受光部と点灯表示
7. 一時停止/再生ボタン(STOP/PLAY)
8. メニューボタン(MENU)
9. モード切替ボタン(MODE)
10. 音声ビデオ入力端子(AV IN)
11. 音声ビデオ出力端子(AV OUT)
12. SDカード差込口(SD CARD)
13. USBジャック(USB)
14. DC入力端子(DC 12V)
    ※12～24Vで動作可です。
15. オープンレバー

パネルの名称2(TV側)

左側面

このスロットは使用しません。

1. 内蔵スピーカー
2. LCD画面
3. チャンネル-/音量-ボタン(CH-/VOL-)
4. チャンネル+/音量+ボタン(CH+/VOL+).
5. リモコン受光部と点灯表示
6. 実行/選択ボタン(OK)
7. メニューボタン(MENU)
8. モード切替/スキャンボタン(MODE/SCAN)
9. アンテナ接続端子(ANT)
10. B-CASカード差込口(B-CAS)
11. 音声ビデオ出力端子(AV OUT)
12. 音声ビデオ入力端子(AV IN)
13. 電源スイッチ(ON/OFF)
14. DC入力端子(DC 12V)※12～24Vで動作可です。

本体の各部機能（DVD側①）

No.	名称	表示	機能
1	電源スイッチ	ON/OFF	本体電源のON/OFFの切替をします。 ・本体の電源をOFFにすると、リモコンはON/OFFできません。リモコン使用時は必ず電源をONにしてください。
2	内蔵スピーカー	/	スピーカー　×2
3	LCD画面	/	9インチ液晶画面。
4	スキップ-/音量-	PREV/ VOL-	・短い時間押すと、前のキャプチャーまたはトラックにスキップします。 ・長い時間押すと、音量が下がります。
5	スキップ+/音量+	NEXT/ VOL+	・短い時間押すと、次のキャプチャーまたはトラックにスキップします。 ・長い時間押すと、音量が上がります。
6	リモコン受光部と 点灯表示	—	・リモコン受光部。 ・電源の点灯表示。
7	一時停止/再生	STOP/ PLAY	再生/一時停止：ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
8	メニュー	MENU	ボタンを押すと画質調整が行えます。ブライトネス、コントラスト、色合い、飽和度、リセットが表示されPREV/NEXTボタンで選択できます。 STOP/PLAYボタンで決定です。 リセットを表示させ、PREV/VOL-またはNEXT/VOL+ボタンでリセットされ初期値に戻ります。 （詳細説明36ページ）
9	モード	MODE	DVD/AV IN（音声ビデオ入力）切換の選択ができます。
10	音声ビデオ入力端子	AV　IN	付属AVケーブルでTV側のAV-OUT端子と接続し、DVD側でTVを視聴出来ます。 外部機器の映像を本体で表示することも出来ます。（外部機器→本体）
11	音声ビデオ出力端子	AV　OUT	付属AVケーブルでTV側のAV-IN端子と接続し、TV側でDVDを視聴出来ます。 外部機器に接続してDVDを表示することも出来ます。（本体→外部機器）

本体の各部機能（DVD側②）

No.	名称	表示	機能
12	SDカード挿入口	SD CARD	再生用のソースが入ったSDカードを挿入します。
13	USB端子	USB	再生用のソースが入ったUSBメモリーを挿入します。
14	DC入力端子	DC 12V	付属の電源アダプターを接続します。 ※12～24Vで動作可です。

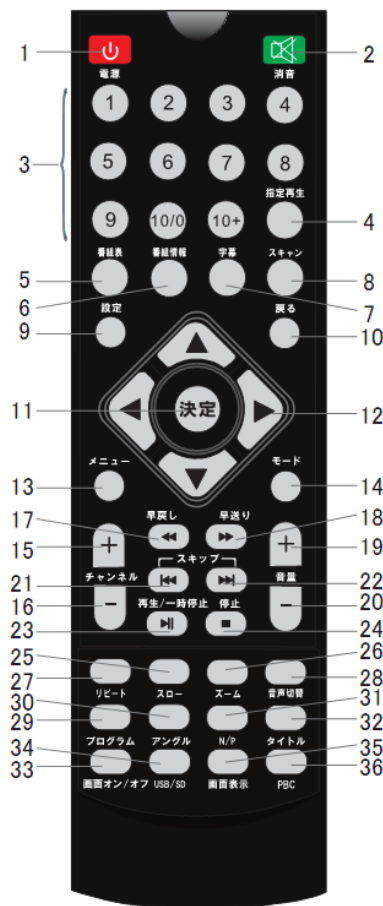
本体の各部機能（TV側①）

No.	名称	表示	機能
1	内蔵スピーカー	—	スピーカー　×2
2	LCD画面	—	9インチ液晶画面
3	チャンネル－と音量－	CH－/ VOL－	・短い時間押すと、1つ前のチャンネルを表示します。 ・長い時間押すと、音量が下がります。
4	チャンネル+と音量+	CH+/ VOL+	・短い時間押すと、次のチャンネルを表示します。 ・長い時間押すと、音量が上がります。
5	リモコン受光部と点灯表示	—	・リモコン受光部 ・電源点灯表示
6	実行/決定	OK	メニュー項目などを入力または選択し、決定ボタンを押すこと実行します。

本体の各部機能（TV側②）

No.	名称	表示	機能
7	メニュー	MENU	●設定 ボタンを押すと設定メニュー画面を表示します。OKボタンを長い時間押すとメニューから通常画面に戻ります。 CH−/VOL−, CH+/VOL+ボタンで項目を選択し、OKボタンでその項目に入ります。 （詳細説明27～31ページ） ●画質調整 1秒以上長押しすると画質調整を行えます。ブライトネス、コントラスト、飽和度、色合い、リセットの設定ができます。項目はMENUボタンで切換え、CH−/VOL−、CH+/VOL+で設定値を変更、OKで決定します。 （詳細36ページ）
8	モード/スキャン	MODE/ SCAN	・短い時間押すと、TV/AVの選択が出来ます。 ・長い時間押すと、チャンネルのスキャンを始めます。 受信可能な放送局を探し出します。
9	アンテナ入力端子	ANT	アンテナケーブルを接続します。
10	B−CASカード差込口	B−CAS	地デジ（フルセグ）用ミニB−CASカードを挿入します。挿入されていないとフルセグ画像はご覧になれません。
11	音声ビデオ出力端子	AV　OUT	付属AVケーブルでDVD側のAV−INと接続し、DVD側でTVを視聴することが出来ます。外部機器に接続してTVを表示することも出来ます。（本体→外部機器）
12	音声ビデオ入力端子	AV　IN	付属AVケーブルでDVD側のAV−OUTと接続しTV側でDVDを視聴することが出来ます。外部機器の映像を本体で表示することも出来ます。（外部機器→本体）
13	電源スイッチ	ON/OFF	本体電源のON/OFFを切替えます。 ・本体電源をOFFにすると、リモコンではON/OFFができません。リモコン使用時は必ず本体電源をONにしてください。
14	DC入力端子	DC 12V	付属の電源アダプターを接続します。 ※12～24Vで動作可です。

リモコンの各部名称・機能

リモコンの各部の名称

リモコンの名称

1.電源ボタン (⏻)

2.消音ボタン (🔇)

3. 数字ボタン(1～9、10/0、10+)

4.指定再生ボタン

5.番組表ボタン

6.番組情報ボタン

7. 字幕ボタン

8.スキャンボタン

9. 設定ボタン

10.戻るボタン

11. 決定ボタン

12. 上下左右ボタン(▲▼ ◀▶)

13. メニュー ボタン

14. モードボタン

15.チャンネルボタン(＋)

16.チャンネルボタン(ー)

17. 早戻しボタン (◀◀)

18. 早送りボタン (▶▶)

19. 音量を上げる (**音量** ＋)

20. 音量を下げる (**音量** －)

21.スキップボタン (前画面へ |◀◀)

22.スキップボタン (次画面へ ▶▶|)

23. 再生/一時停止ボタン (▶||)

24. 停止ボタン (■)

25. スローボタン

26. ズームボタン

27. リピートボタン

28. 音声切替ボタン

29. プログラムボタン

30. DVDアングル変更ボタン (アングル)

※DVDの映像に複数のアングルがある場合
　にのみ機能します。

31.N/P切替ボタン

32.タイトルボタン

33.画面オン/オフボタン

34. USB/SD切替ボタン(USB/SD)

35.画面表示ボタン

36.PBCボタン

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
1	電源ボタン	⏻	本体電源のON/OFF切替をします。 ＊本体の電源をOFFにすると、リモコンでは電源のON/OFFできません。 リモコン使用時は必ず本体の電源をONにしてご使用ください。
2	消音ボタン		一時的に音が消えます。もう一度押すと音が出ます。 ＊電源ボタンをOFFするとMUTE設定は解除されます。
3	数字ボタン	1～9、 10/0、 10+	数字を入力するときに使います。 （トラックやチャプター、チャンネル選択等）
4	指定再生	指定 再生	ディスク使用時に、チャプター指定再生／タイトル内時間指定再生／チャプター内指定再生が選択できます。 **チャプター指定再生**：再生中のタイトルの中のチャプターを指定再生します。 **タイトル内時間指定再生**：再生中のタイトル内の時間指定を数字ボタンにより指定し再生します。 **チャプター内指定再生**：再生中のチャプター内の時間指定再生を数字ボタンにより指定再生します。 ＊ディスクにより設定内容が変わりますので、画面の設定に従って入力してください。
5	番組表	番組表	TV使用時、ボタンを押すと番組表を表示します。 戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。 ※TVモードのみ。
6	番組情報	番組 情報	TV使用時、ボタンを押すと、チャンネルリスト画面を表示されます。
7	字幕	字幕	※DVD使用時 この設定をONにすると、ディスクに字幕情報が含まれている場合に字幕を画面上に表示します。 この機能は字幕情報付DVDに対応します。 ※TV使用時 ボタンを押す度に字幕のオンオフが切り替わります。 この機能は字幕対応放送に対応します。

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
8	スキャン	スキャン	TV側: チャンネルスキャンが始まります。 受信可能な放送局を探し出します。 ※TVモードのみ。
9	設定	設定	DVD／AV IN 使用時 基本設定、デジタル設定、映像設定、選択設定をおこないます。 方向ボタン(◀▶)で選択し、方向ボタン(▼▲)で下位メニューを選びます。 (詳細説明34～35ページ) TV側: 各種設定を行います。 方向ボタン(▼▲)でメニューを選びます。 (詳細説明27～31ページ)
10	戻る	戻る	前の画面に戻ります。
11	決定	決定	メニュー項目などの決定して実行します。
12	方向ボタン (上下左右)	▲ ▼ ◀ ▶	方向ボタンでメニュー項目の移動をします。 またTV使用時、 ▼▲ボタンでTVチャンネルの切換え(アップダウン)ができます。 ◀▶ボタンで音量変更ができます。
13	メニュー	メニュー	ボタンを押す毎にブライトネス、コントラスト、色合い、飽和度、リセットが順に表示されます。方向ボタン(◀▶)で選択します。 (詳細説明36ページ)
14	モード	モード	DVD側:映像出力をDVD/AV IN(音声ビデオ入力)の選択ができます。 TV側:映像出力をTV/AV IN(音声ビデオ入力)の選択ができます。
15	チャンネル＋	＋	チャンネル＋ボタンを押すと次のチャンネルを表示します。
16	チャンネルー	―	チャンネルーボタンを押すと1つ前のチャンネルを表示します。
17	早戻し	◀◀	早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。
18	早送り	▶▶	早送り再生ができます。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。

リモコンの各部機能

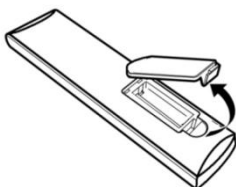
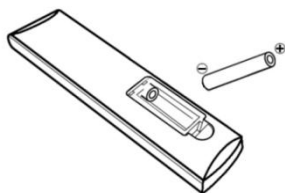
No.	名称	表示	機能
19	音量＋	＋	音量＋ボタンを押すと音量が上がります。
20	音量ー	ー	音量ーボタンを押すと音量が下がります。
21	スキップ	|◀	前のキャプチャーまたはトラックにスキップします。
22	スキップ	▶|	次のキャプチャーまたはトラックにスキップします。
23	再生／一時停止	▶||	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどのその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
24	停止ボタン	■	再生中に一回押すと一時停止します。二回押すとスタート位置に戻り停止します。
25	スロー	スロー	ボタンを押すことにより、ゆっくりした1/2、1/4、1/8、1/16倍の速度で再生します。 ＊スロー再生中は音声はでません。
26	ズーム	ズーム	ボタンを押すことにより動画シーンをズームイン（拡大）／ズームアウト（縮小）することが出来ます。ズームイン/ズームアウト可能な倍数は2x、3x、4x、1/2、1/3、1/4です。ズームインしたときに上下左右ボタン（▼▲◀▶ ）で画面が移動できます。 Note：この機能はDVD、VCDに適応します。
27	リピート	リピート	ボタンを押すことにより繰り返しモードになります。 DVD（チャプター→タイトル→オール） CD（トラック→オール） Note：PBC機能が有効の場合この機能は無効になります。 ＊本体、リモコン電源ボタンをオフするとリピートは解除されます
28	音声切替	音声 切替	ディスク内の切替可能な音声を選択します。（ディスクによって異なります）
29	プログラム	プログラム	DVDモードでお好みのトラック、チャプタを入力することによりご指定の順にプログラム再生します。

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
30	アングル	アングル	ボタンを押すと視野角度が上下120度、左右140度内に変更されます。 ※この機能は複数のカメラアングルでエンコードされたディスクにのみ対応。
31	N／P	N／P	ボタンを押すと、テレビタイプの切替(NTSC／PAL)ができます。 ※日本ではNTSCの設定で使用してください。
32	タイトル	タイトル	DVD再生中にボタンを押すと再生画面にタイトル(ルート)メニューが出てきます。方向ボタン(▲▼)でご希望のメニューを選択してください。タイトルメニューはDVDにより内容が違います。方向ボタン (◀▶ で選択し決定ボタンを押すと次画面に変わります。PBC機能はコード化されている再生ディスクの場合のみPBCメニューを表示します。もう一度押すとPBCは機能しなくなります。 Note:DVD、VCD1.1、CD-DAとMP3にはPBC機能はありません。
33	画面オン／オフ	画面オン／オフ	ボタンを押すと、画面のオン/オフ設定ができます。 ※画面は消えますが音声は出ます。
34	USB／SD	USB／SD	ボタンを押すと、USB、SDの切換ができます。ボタンを押すより、USB/SDを選択します。認識されたMEDIA名が表示され、認識されない場合は元の画面に戻ります。
35	画面表示	画面表示	タイトル・チャプターの再生経過時間を表示します。画面オフを選択すると経過時間の表示はオフになります。 (タイトル経過時間→タイトル残り時間→チャプター経過時間→チャプター残り時間→画面表示オフ)
36	PBC	PBC	DVD側 PBC機能はコード化されている再生ディスクの場合のみPBCメニューを表示します。もう一度押すとPBCは機能しなくなります。 Note:DVD、VCD1.1、CD-DAとMP3にはPBC機能はありません。

2. リモコン・本体の準備及び接続

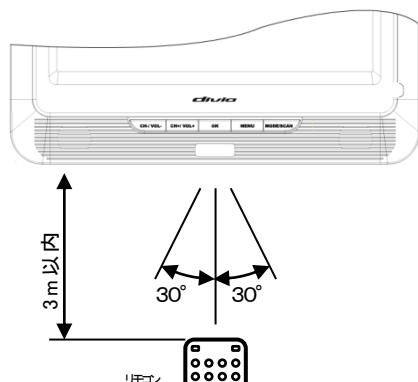
リモコンの準備

①リモコンのふたを外す。

②乾電池をいれる。
・単4形乾電池を使用します。
・乾電池は－側から縦に2本挿入してください。

③リモコンのふたを閉める。

［注意］：リモコン電池について
※リモコンの電池は、単4形乾電池（2本使用）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用分は、別途ご用意ください。
※長期間本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して保管してください。

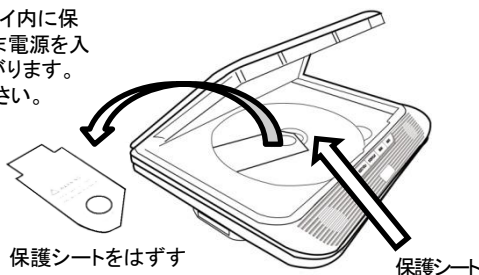
リモコンの操作範囲（DVD側とTV側同様）

画面に対し垂直に向けて
操作してください。

距離：リモコン受光部から
3m以内
角度：リモコン受光部から
上下左右約30度以内

DVD側−保護シートの取り外し

出荷時の状態では、ディスクトレイ内に保護シートがついています。そのまま電源を入れると機器の破損や故障につながります。電源投入前に必ず取り外してください。

保護シートをはずす

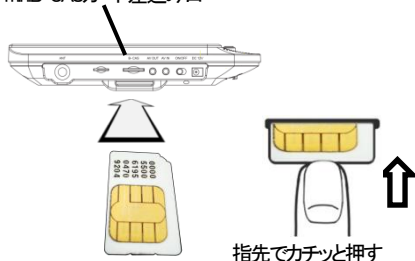
保護シート

TV側−miniB-CASカードを入れる

電源が入っていないことを確認して、miniB-CASカードの裏面を上にしてカチッと音がするまで奥に差し込んでください。

取り出すときは中央を奥まで押込み、離すと出てきますのでつまんで抜いてください。

※本製品に同梱されているminiB-CASカードは地上デジタルフルセグ放送を受信するときに必ず挿入してください。

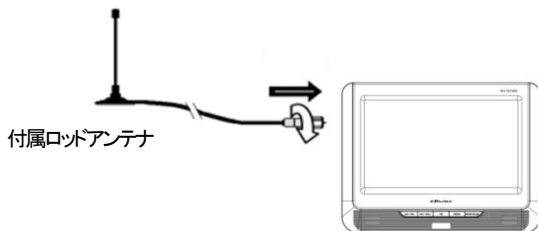
登録の仕方や取扱いについてはカードが入っている説明書をご覧ください。

miniB-CASカードに関するお問い合わせ先は、カードが入っている説明書をご覧ください。

裏面を上にして差込む

TV側−アンテナの接続

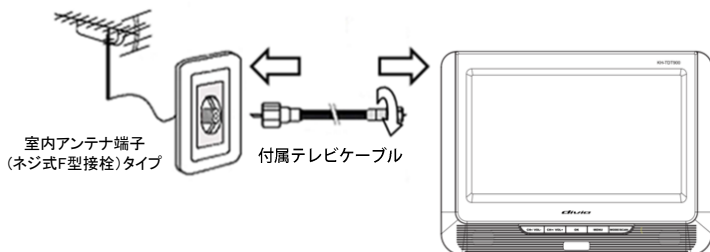
(1)付属のロッドアンテナを使う場合

本体に付属の外付け受信用ロッドアンテナを接続し、窓際など電波の受信しやすい場所に置いてください。

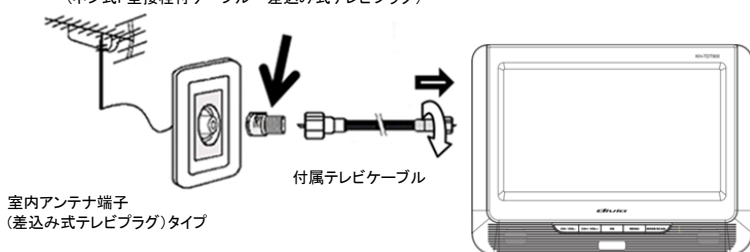
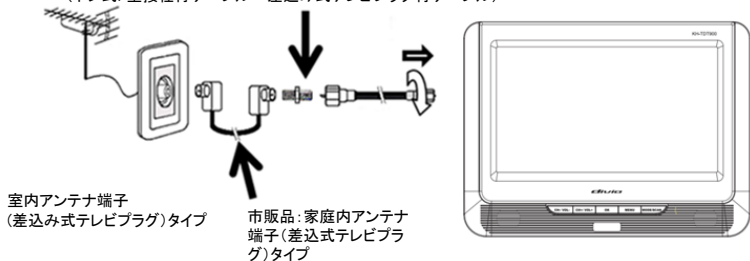
お車でご使用の際は、なるべく高い位置に設置したほうが受信状況はよいですが、お車によって状況は異なりますので、安全運転に支障のない範囲で受信状況のよい設置場所をお探し下さい。

付属ロッドアンテナのコネクターを本体左側面のアンテナ端子に差込み右へ回してしっかりと固定してください。

(2)室内用アンテナ端子に接続して使う場合

①室内アンテナ端子がネジ式のF端子の場合

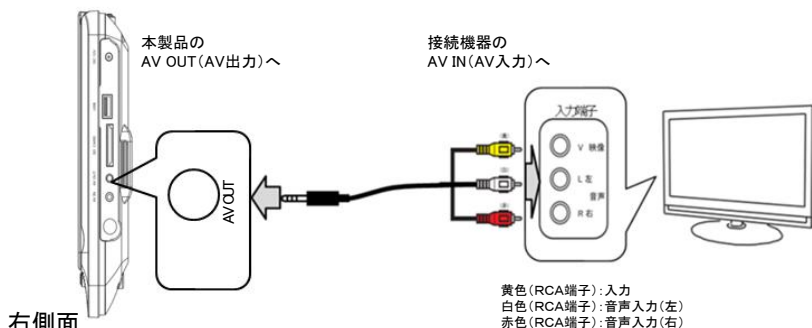
付属のテレビケーブルを使用して接続してください。
本体側、アンテナ端子側ともにネジ式になっていますので右へ回してしっかりと固定してください。

②室内アンテナ端子が差込み式のテレビプラグ端子の場合

付属のテレビケーブルは直接、室内用アンテナ端子には取付きませんので、市販の接続用接栓や市販のアンテナコードを使用して接続してください。

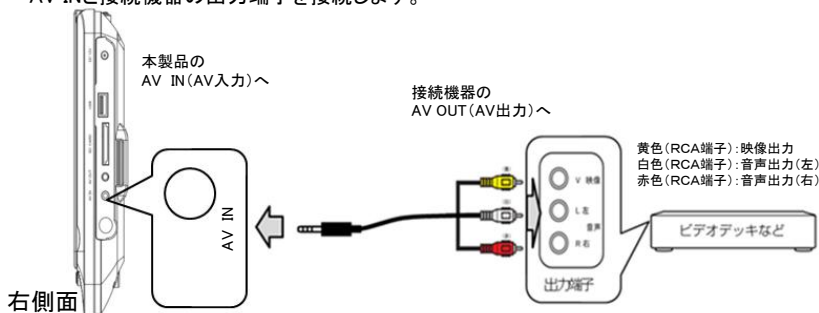
②-1、室内アンテナ端子と付属テレビケーブルを接続する接栓を使う場合

②-2、市販のケーブルと付属テレビケーブルを接続する接栓を使う場合

外部機器の接続

外部機器と接続してお使いになる場合、下記のように接続してください。本製品単体でお使いになる場合は、下記接続は必要はありません。
（※DVD側のみ説明しています、TV側の場合はDVD側をご参照ください。）

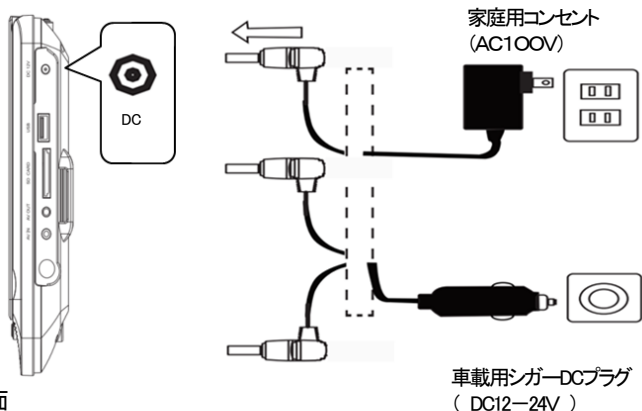
（1）外部機器に出力する場合

本製品で再生している映像を外部機器に出力する場合の接続です。
（大画面テレビでDVDを観賞したいときなど）
付属のAVケーブルを使って、本製品側面のAV　OUTと外部接続機器（テレビ等）の入力端子を接続します。

※接続したテレビ側で外部入力モード（ビデオ等）に切り替える必要があります。
※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかったり故障の原因となることがあります。

（2）外部機器から入力する場合

本製品にビデオデッキ、ビデオカメラ等の外部機器を接続し、接続機器側で再生している映像を本製品の液晶モニターに再生します。付属のAVケーブルを使って本製品側面のAV INと接続機器の出力端子を接続します。

※外部機器の映像を入力する場合は、本製品の機能モードを「AVモード」に切換えてください。
※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかったり故障の原因となることがあります。

電源の接続

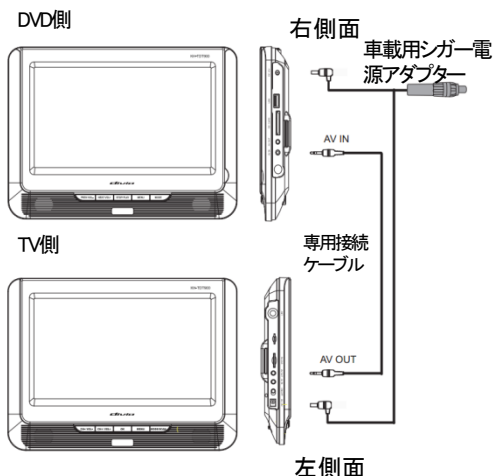
本体側面の電源入力に付属のACアダプターもしくは車載用DCシガーアダプタを接続してコンセントもしくはシガーソケットに接続します。

※長期間電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ずDVD側とTV側から電源アダプターを取り外してください。

※車載用シガーDCアダプターはDC12V-DC24V車に接続できます。DC-DCコンバーターなどの電圧変換器は使用しないでください。故障の原因になることがあります。

TV側をDVD側への接続

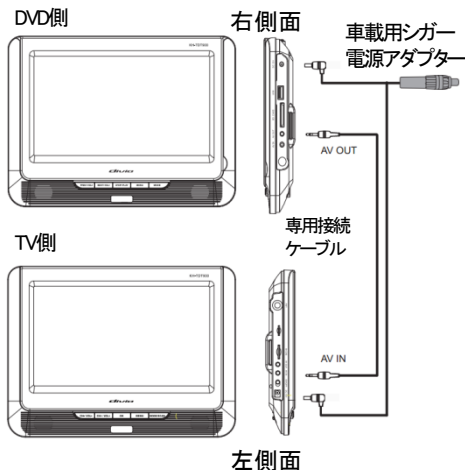
TV側をプレーヤーとして、DVD側をモニターとして利用している際は、右図のように接続してから、ご使用ください。接続を始める前に、お車のイグニッションキーをOFFにして、シガーソケットの電源を切ってください。

・専用接続ケーブルをTV側のAV OUTとDVD側のAV INに接続してください。
・付属の車載用シガー電源アダプターをDVD側とTV側のDC 12Vに接続し、最後にお車のシガーソケットに接続してください。

接続を確認してから、お車のイグニッションキーをONにしてDVD側とTV側の電源スイッチを入れてください。

DVD側をTV側への接続

DVD側をプレーヤーとして、TV側をモニターとして利用している際は、右図のように接続してから、ご使用ください。接続を始める前に、お車のイグニッションキーをOFFにして、シガーソケットの電源を切ってください。

・専用接続ケーブルをTV側のAV INとDVD側のAV OUTに接続してください。
・付属の車載用シガー電源アダプターをDVD側とTV側のDC 12Vに接続し、最後にお車のシガーソケットに接続してください。

接続を確認してから、お車のイグニッションキーをONにしてDVD側とTV側の電源スイッチを入れてください。

車への取付方法

車載で楽しみたい場合は、DVD本体とTV本体を付属の車載バッグに入れてからヘッドレストに取り付けます。

●車への取付方法
付属の車載バッグに本体を収納してヘッドレストに取り付けます。
フロントガラスに向かって左がDVD側、右がTV側です。
バッグの上から本体を入れて、固定ベルトで固定します。
次に2本のバックル付きベルトでヘッドレストに巻くように取り付けます。

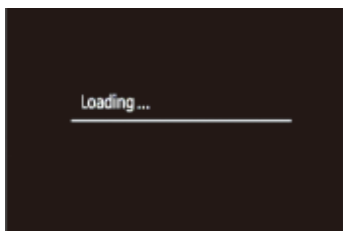
※取付イメージ写真をご参照ください。

3.TVモード（テレビ）で再生（TV側のみ）

スキャン操作は初めて使用する時に必ず行う操作です。スキャンを行わないとテレビ放送を受信することができません。また、移動により放送エリアが変わった時にもスキャンをやり直してください。

■テレビを使用する前にスキャン操作

①電源を入れる。
②モードボタンでTVモードにする。

＊電源が入力されると下記の画面が表示されます。

③リモコンのスキャンボタンを押して下さい。スキャンが開始します。現在地で受信可能な放送局を探し出し記憶します。
※スキャン時は必ず受信環境が良いところで行ってください。

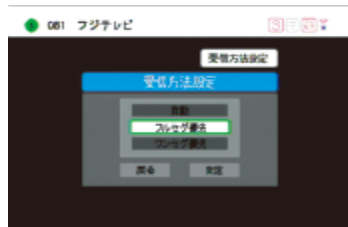
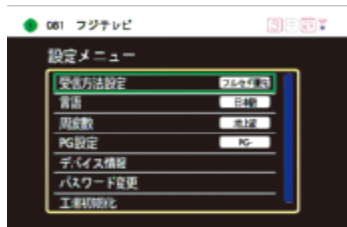
④スキャンが終了しましたら、リモコン等でお好みのチャンネルを選局しておたのしみください。

<<お車でスキャン操作を行うときのご注意>>
・スキャンの際は、見晴らしの良い電波の受信環境の良い場所で車を静止して行って下さい。受信環境が悪い所で行ったり、スキャン中に移動したりすると放送局が受信出来ない場合があります。
・遠方へ移動するなど受信できる放送局が変わる場合は、受信環境などで放送局の検索がスムースにいかない時はスキャンボタンにより、再度受信環境の良い所で暫く静止してスキャンを行ってください。

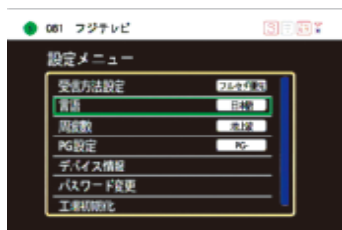
■テレビの操作メニュー

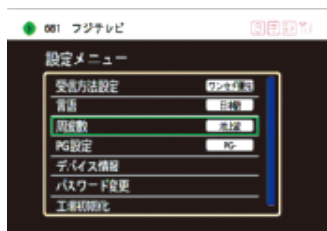
TV使用時、リモコンの設定ボタンを押し、設定メニューの画面にします。

受信方法設定
自動/ワンセグ/フルセグ切替動作の設定が出来ます。

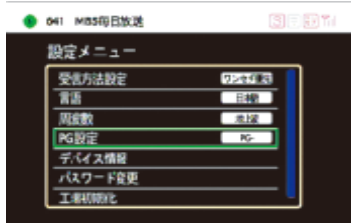
1、▲▼ボタンでメインメニュー項目の中から受信方法設定を選択し決定ボタンを押すと、
　　受信方法設定画面が表示されます。
2、「自動」、「フルセグ優先」、「ワンセグ優先」の中から、▲▼ボタンで選択し決定ボタン
　　で決定します。

自　動　切　替:強電界地域ではフルセグを受信します。
　　　　　　　　中/弱電界地域ではワンセグを受信します。
フルセグ優先:フルセグ電波優先受信します。
ワンセグ優先:ワンセグ電波優先受信します。

言語設定
メニュー画面の言語設定です。日本語、英語の切替動作の設定が出来ます。

1、▲▼ボタンでメインメニュー項目から言語を選択し決定ボタンを押すと、言語設定画面が
　　表示されます。
2、「日本語」、「英語」の中から▲▼ボタンで選択し決定ボタンで決定します。

周波数設定
ケーブルテレビ、地上波切替動作の設定が出来ます。

1、▲▼ボタンでメインメニュー項目から周波数を選択し決定ボタンを押すと、周波数設定が表示されます。
2、「ケーブル」、「地上波」の中▲▼ボタンで選択し決定ボタンで決定します。

ケーブル：ケーブルテレビ専用
地上波：地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるため、エリアによっては非常に小さい出力で開始されます。そのため、受信可能エリアが限定されます。
又、受信障害がある環境では、エリア内でも受信出来ないことがあります。

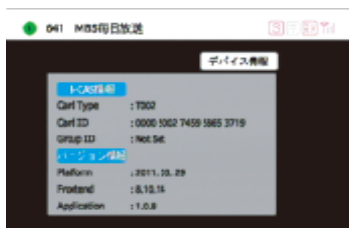
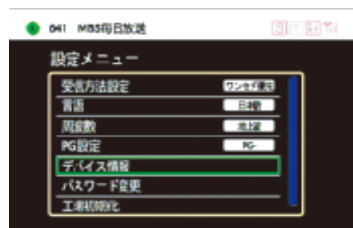
PG設定（ペアレンタルコントロール）
視聴制限機能

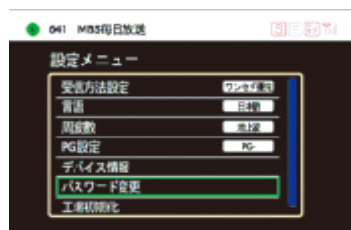
1、▲▼ボタンでメインメニュー項目からPG設定を選択し決定ボタンを押すと、パスワード画面が表示されます。
2、現在のパスワードを数字ボタンで入力し決定ボタンを押して決定します。PG設定画面が表示されます。

※パスワードの初期値は1111に設定されています。
※数字を間違えた場合は戻るボタンを押し、上の項目からやり直してください。

制限レベル（PG−、PG4〜PG18）：
※数字の4〜18は制限年齢の意味を表します。

暴力画面等を含む番組には見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。本機では、どのレベルまで再生できるかを設定出来ます。適切な制限レベルは実際にお客様ご自身で動作させてご確認下さい。

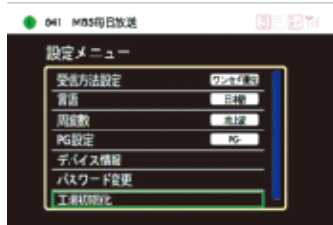
デバイス情報
B-CAS情報及びバージョン情報の確認ができます。

1、▲▼ボタンでメインメニュー項目からデバイス情報を選択し決定ボタンを押すと、デバイス情報画面が表示されます。

パスワード変更
パスワードを変更します。

1、▲▼ボタンでメインメニュー項目からパスワード変更設定を選択し決定ボタンを押すと、
パスワード変更画面が表示されます。
2、現在のパスワードを数字ボタンで入力します。
3、新しいパスワードの入力欄に、数字ボタンで新しいパスワードを入力して、決定ボタンを押して決定します。
4、新しいパスワード再度入力して、決定ボタンを押して決定します。パスワードの変更は完了しました。

※パスワードの初期値は1111に設定されています。
※数字を間違えた場合は戻るボタンを押し、上の項目をやり直してください。

注意:パスワードはメモを取り、大切に保管してください。
※パスワードが判らなくなると、修理にお出しいただかない限りパスワードの変更や全設定消去が行えなくなりますので、変更する際は十分注意してください。

工場初期化
工場出荷時の初期設定に戻します。

1、▲▼でメインメニュー項目から工場初期化を選択し決定ボタンを押すと、初期設定画面が表示されます。
2、現在のパスワードを数字ボタンで入力し決定ボタンを押して決定します。
3、工場初期化画面が表示されます。

※パスワードの初期値は1111に設定されています。
※数字を間違えた場合は戻るボタンを押し、上の項目からやり直してください。

注意：
工場初期化されると、視聴制限のパスワードも初期化されますので、ご注意下さい。

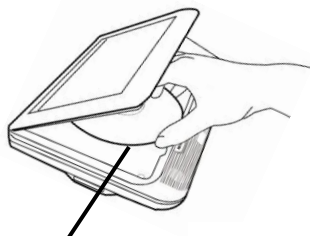
4. DVDモードで再生（DVD側のみ）
（DVD／SDカード／USBメモリー）

すべての接続を確認してください。電源スイッチのスイッチを入れて再生してみましょう。

■ディスク(DVD／CD）を入れる

1.ディスプレイを開けて電源を入れます。
2.オープンレバーでディスクカバーを開けて下さい。画面に“開く”と表示されます。
3.ディスクをトレイの置く（カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みす。）
4.ディスクカバーを閉めると画面上に“読込み中”と表示され自動的に再生が始まります。

オープンレバーを上の方向に開けてください。

記録面を下にいれる。

※パネルを閉めると画面上に“読込み中”と表示され自動的に再生が始まります。

⚠ 注意

・回転中にディスクに触れない
けがや故障の原因になります
・パネルを閉めるとき手をはさまない
指や手をはさみけがの原因になります
・パネルを無理にあけない
無理に開けると故障の原因になります
・変形、ひび割れ、接着剤などでの補修、シールやフィルムなどの貼りもののあるディスクは使用しない
故障の原因になります。
・本製品で再生出来ないディスクやディスク以外の異物は入れない
故障の原因になります。
・再生中に本製品を傾けたり揺らしたり移動させたりしない
故障の原因になります。悪路を走行中はディスクを停止させてください。
・長時間再生直後は、内部は触れない
内部が熱くなることがありますのでディスクの取り出しには注意してください。

■ディスクを再生させる。

電源の接続、ディスクの挿入の確認をしてください。

①本製品の電源をいれる。
②モード（MODE）ボタンを押しDVDモードにする。
③再生／一時停止ボタンを押しディスクを再生させる。
※ディスクを入れパネルを閉めたときに電源オン、DVDモードで自動再生されます。
④DVDディスクやビデオCDを再生するとディスクプログラムのメニュー画面が表示されます。
上下左右ボタンにてメニュー内容に従って再生をお楽しみください。

■SDカード／USBメモリーを再生させる。

市販のSDカードやUSBメモリーにパソコンなどでいれた動画や音楽を再生させることができます。

①本製品の右側面にあるSDカードおよびUSBの挿入口に動画又は音楽の入ったSDカードもしくはUSBメモリーを挿入する。使用可能なSDカード、USBメモリーは4GBまでです。
②本製品の電源をいれる。
③USB/SDボタンを押し、SD／USBの切換ができる。
④ USB/SDボタンを押し、挿入したデバイスを選択する。
⑤画面のメニューに従って再生したいデータを上下左右ボタンで選び決定ボタンを押す。
④画面のメニュー内容に従って再生をお楽しみください。

■再生可能な条件

本製品の再生可能なデータ形式は下記のとおりです。条件に従って記録してください。記録方法は、レコーダーやパソコンなどの記録機器の取扱説明書をごらんください。

動画、音楽、写真の再生可能な詳細条件:

	再生可能データフォーマット	画素(RGB)	ビットレート(kb/s)	フレームレート
動画	AVI	720×576以下	64kb/s	23fps
音楽	MP3		224kb/s以下	
	WMA		159kb/s	
写真	JPEG	6000×3900以下		

※一般的にCDやDVD（市販されているもの）以外の音楽、動画データについては、本機で再生出来ない場合がありますので予めご了承いただきます。
※本機で再生可能な動画データは標準画質（SD）までです。HD画質の動画は再生出来ませんので予めご了承下さい。

■設定ボタンの説明（DVD側のみ）

各モードで再生時、設定ボタンでさまざまな再生設定、機能でお楽しみいただけます。

MODEボタンにてDVDまたはAV IN に設定してください。
1．リモコンの設定ボタンを押すと各々の設定メニュー画面が表示されます。
2．方向ボタン（◀又は▶）を押して
　（1）基本設定
　（2）デジタル設定
　（3）映像設定
　（4）選択設定
　のページを選び決定ボタンで決定します。（◀ ）ボタンで前の設定画面に戻すことができます。
3．次に（▼又は▲）ボタンで上下移動しメニューを選び、決定ボタンを押します。
4．決定したメニューからサブメニューの選択内容を▼又は▲ ボタンで選択し決定ボタンを押します。（◀）ボタンで前メニューに戻ります。
　設定メニューを終了するには設定ボタンを押します。

（1）基本設定

「基本設定」では
　◎アングルマーク
　◎画面表示言語
　◎スクリーンセーバー
　◎ラストメモリー
の設定ができます。

◎アングルマーク･･･オン（入）／オフ（切）
複数のカメラアングルの映像が組み込まれているマルチアングル付きDVDのアングル選択ができます。
＊この機能はマルチアングルで作成されたDVDに対応します。

◎画面表示言語･･･英語／日本語の切換
　設定のページ画面に表示される言語の設定をします。

◎スクリーンセーバー･･･オン（入）／オフ（切）
　画面上の画像が静止したまま、例えば、ディスクを数分間PAUSE 、STOPなどしたとき画面にスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが表示中、いずれかの操作ボタンを押すと元の状態に戻ります。

◎ラストメモリー･･･オン（入）／オフ（切）
　この機能をオンにしたとき、本機が再生中ディスク扉を開いたり、又はディスクを停止した場合、最後に再生していた部分を記憶しておく機能。ディスクを再生するときに記憶された箇所から再生が始まります。他のディスクを読み込むとメモリーは消えます。

（2）デジタル設定：
◎デュアルモノ設定
＊本機種はこの機能は対応していません。

（3）映像設定：
DVDの画質調整の設定行います。
＊この設定はDVDの画質調整のみに対応します。

◎画面設定・・・ブライトネス、コントラストの設定設定を選び（◀ ▶）ボタンでお好みの画質設定を選び決定ボタンを押します。
・ブライトネス・・・ −15～ 0 ～ +15
画面の明るさを調整します。（輝度調整）
・コントラスト・・・ −15～ 0 ～ +15
画面の明暗の差を調整します。

（4）選択設定：
「選択設定」では
◎テレビタイプ
◎ペアレント設定（パレンタル設定）
◎パスワード
◎初期設定
の設定ができます。

◎テレビタイプ・・・PAL／自動／NTSCの選択設定
本機は、放送方式がNTSC方式とPAL方式と互換性があり、どのTV放送方式でも接続可能です。
NTSC方式のTVに接続した場合、再生ディスクがPAL方式であってもNTSC信号を出力します。
（日本、韓国、台湾、米国、カナダなど）
PAL方式のTVに接続した場合、再生ディスクがNTSC方式であってもPAL信号を出力します。
（中国、ヨーロッパ、中東など）
間違った選択をした場合画面が汚くなりますので正しく選択してください。
＊日本でご使用の場合はNTSC方式に設定されていることを確認してください。

◎ペアレント設定（パレンタル設定）：視聴制限機能
暴力画面などを含むDVDディスクには視聴する人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。適切な制限レベルは実際にお客様ご自身で動作させてご確認ください。
制限レベル（KID SAFE、G、PG、PG13、PGR、R、NC17、ADULT）

◎パスワード
この項目でパスワードを変更することができます。
パスワードを変更しても初期設定パスワード(1389）は常に有効です。
＊新しいパスワードに変更する前旧パスワードを正しく入力する必要があります。初期設定のパスワードは1389です。

◎初期設定
工場出荷時の初期設定に戻します。視聴制限のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。

■画質調整

TV側

◎ブライトネス・・・・　画面の明るさを調整します。（0～20）
◎コントラスト・・・・　画面の明暗の差を調整します。（0～20）
◎飽和度・・・・・・・　画面の色の濃さを調整します。（0～20）
◎色合い・・・・・・・　画面の色合いを調整します。（0～20）
◎リセット・・・・・・・　リモコンの左右ボタンを押すとリセットされます。

※ CH−/VOL−またはCH + /VOL +ボタンでリセットを実行します。リセットの操作をした場合、音量はレベル10に設定されます。

DVD側

◎ブライトネス・・・・　画面の明るさを調整します。（－15～＋15）
◎コントラスト・・・・　画面の明暗の差を調整します。（－15～＋15）
◎色合い・・・・・・・　画面の色合いを調整します。（－5～＋5）
◎飽和度・・・・・・・　画面の色の濃さを調整します。（－5～＋5）
◎リセット・・・・・・・　リモコンの左右ボタンを押すとリセットされます。

5.主な仕様

品　　　番	KH－TDT900
品　　　名	9インチDVD&TVマルチモニター
液 晶 サイズ	9インチTFT　LCD(16:9)
画　　　質	800×480　RGB
視 野 角 度	上下120度　左右140度
カラーシステム	PAL/NTSC自動切換
再生可能メディア	12cm　CD/CD-R　12cmDVD-R/DVD-R/SDカード(4GB以下)/USBフラッシュメモリー(4GB以下)
再 生 可 能 データフォーマット	VCD/CD/DVD/CPRM (VRモード)/MPEG/JPEG/MP3/AVI等に対応
映 像 入 出 力	CVBS、1Vp-p　75Ω
音 声 入 出 力	1.4Vrms/10kΩ
使 用 電 源	AC100～240V(AC電源アダプター) DC12～24V(シガー電源アダプター)
使 用 温 度	-5～40℃
保 存 温 度	-10～60℃
消 費 電 力	DVD側:10W、TV側:10W
外 形 寸 法	DVD側:W255×H195×D35(mm) TV側:W260×H193×D33(mm)
本 体 質 量	DVD側:約760g　　TV側:約540g

再生メディアに関するご注意！

DVD-R
本機はビデオモード又はCPRM方式で記録し、且つファイナライズ処理されたものに関して再生が可能です。双方とも記録状況によっては再生出来ない場合があります。
CD-R
本機の対応フォーマットで記録され、記録終了時にセッションクローズ又はファイナライズされた音楽用CD-R再生に対応しています。双方とも記録状況によっては再生出来ない場合があります。

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

6. 地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）

地域名	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）	
放送局名・チャンネル番号	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広
	2	NHK教育・札幌	2	NHK教育・函館	2	NHK教育・旭川	2	NHK教育・帯広
	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送
	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送
	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送
	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送
	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道
地域名	北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）		宮城	
放送局名・チャンネル番号	3	NHK総合・釧路	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭	3	NHK総合・仙台
	2	NHK教育・釧路	2	NHK教育・北見	2	NHK教育・室蘭	2	NHK教育・仙台
	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送	1	東北放送
	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	8	仙台放送
	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	4	宮城テレビ放送
	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	5	東日本放送
	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道		
地域名	秋田		山形		岩手		福島	
放送局名・チャンネル番号	1	NHK総合・秋田	3	NHK総合・山形	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・秋田	2	NHK教育・山形	2	NHK教育・盛岡	2	NHK教育・福島
	4	秋田放送	1	山形放送	6	IBC岩手放送	8	福島テレビ
	8	秋田テレビ	5	山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ
	5	秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	岩手めんこいテレビ	5	福島放送
			8	さくらんぼテレビジョン	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島
地域名	青森		東京		神奈川		群馬	
放送局名・チャンネル番号	3	NHK総合・青森	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・青森	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	1	青森放送	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網
	6	青森テレビ	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送
	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
			5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
			7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
			9	東京メトロポリタンテレビジョン	9	テレビ神奈川	9	群馬テレビ
			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学
地域名	茨城		千葉		栃木		埼玉	
放送局名・チャンネル番号	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網
	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
	12	放送大学	3	千葉テレビ放送	3	とちぎテレビ	3	テレビ埼玉
			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学
地域名	長野		新潟		山梨		愛知	
放送局名・チャンネル番号	1	NHK総合・長野	1	NHK総合・新潟	1	NHK総合・甲府	3	NHK総合・名古屋
	2	NHK教育・長野	2	NHK教育・新潟	2	NHK教育・甲府	2	NHK教育・名古屋
	4	テレビ信州	6	新潟放送	4	山梨放送	1	東海テレビ放送
	5	長野朝日放送	8	新潟総合テレビ	6	テレビ山梨	5	中部日本放送
	6	信越放送	4	テレビ新潟放送網			6	名古屋テレビ放送
	8	長野放送	5	新潟テレビ21			4	中京テレビ放送
							10	テレビ愛知
地域名	石川		静岡		福井		富山	
放送局名・チャンネル番号	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡	1	NHK総合・福井	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・金沢	2	NHK教育・静岡	2	NHK教育・福井	2	NHK教育・富山
	4	テレビ金沢	6	静岡放送	7	福井放送	1	北日本放送
	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビジョン放送	8	中部日本放送
	6	北陸放送	4	静岡第一テレビ			6	富山テレビ放送
	8	石川テレビ放送	5	静岡朝日テレビ				

地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考） 続き

地域名	三重		岐阜		大阪		京都	
放送局名 チャンネル番号	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	1	東海テレビ放送	1	東海テレビ放送	4	毎日放送	4	毎日放送
	5	中部日本放送	5	中部日本放送	6	朝日放送	6	朝日放送
	6	名古屋テレビ放送	6	名古屋テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送
	4	中京テレビ放送	4	中京テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送
	7	三重テレビ放送	8	岐阜放送	7	テレビ大阪	5	京都放送

地域名	兵庫		和歌山		奈良		滋賀	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・神戸	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	4	毎日放送	4	毎日放送	4	毎日放送	4	毎日放送
	6	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送
	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送
	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送
	3	サンテレビジョン	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ放送	3	びわ湖放送

地域名	広島		岡山		島根		鳥取	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・広島	1	NHK総合・岡山	3	NHK総合・松江	3	NHK総合・鳥取
	2	NHK教育・広島	2	NHK教育・岡山	2	NHK教育・松江	2	NHK教育・鳥取
	3	中国放送	4	西日本放送	8	山陰中央テレビジョン放送	8	山陰中央テレビジョン放送
	4	広島テレビ放送	5	瀬戸内海放送	6	山陰放送	6	山陰放送
	5	広島ホームテレビ	6	山陽放送	1	日本海テレビジョン放送	1	日本海テレビジョン放送
	8	テレビ新広島	7	テレビせとうち				
			8	岡山放送				

地域名	山口		愛媛		香川		徳島	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・山口	1	NHK総合・松山	1	NHK総合・高松	3	NHK総合・徳島
	2	NHK教育・山口	2	NHK教育・松山	2	NHK教育・高松	2	NHK教育・徳島
	4	山口放送	4	南海放送	4	西日本放送	1	四国放送
	3	テレビ山口	5	愛媛朝日テレビ	5	瀬戸内海放送		
	5	山口朝日放送	6	あいテレビ	6	山陰放送		
			8	テレビ愛媛	7	テレビせとうち		
					8	岡山放送		

地域名	高知		福岡		熊本		長崎	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・高知	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・高知	3	NHK教育・北九州	2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・長崎
	4	高知放送	2	NHK教育・福岡	3	熊本放送	3	長崎放送
	6	テレビ高知	2	NHK教育・北九州	8	テレビ熊本	8	テレビ長崎
	8	高知さんさんテレビ	1	九州朝日放送	4	熊本県民テレビ	5	長崎文化放送
			4	RKB毎日放送	5	熊本朝日放送	4	長崎国際テレビ
			5	福岡放送				
			7	TVQ九州放送				
			8	テレビ西日本				

地域名	鹿児島		宮崎		大分		佐賀	
放送局名 チャンネル番号	3	NHK総合・鹿児島	1	NHK総合・宮崎	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・鹿児島	2	NHK教育・宮崎	2	NHK教育・大分	2	NHK教育・佐賀
	1	南日本放送	6	宮崎放送	3	大分放送	3	サガテレビ
	8	鹿児島テレビ放送	3	テレビ宮崎	4	テレビ大分		
	5	鹿児島放送			5	大分朝日放送		
	4	鹿児島読売テレビ						

地域名	沖縄	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	琉球放送
	5	琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ放送

・地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるため、エリアによっては非常に小さい出力で開始されます。そのため、受信可能エリアが限定されます。また、受信障害がある環境では、エリア内でも受信できないことがあります。

・地上デジタル放送開始等の確認は、お近くのTV局へお問い合わせください。

7.困ったときは （故障かな？と思ったら）

保守サービスを利用する前に、もう一度次の項目をご確認ください。

症状	処置
音がでない	本体のVOL+またはリモコンの音量+を押して下さい。 TV側でリモコンの音量+を押しても音が出ない場合はリモコンの右キー▶を押してください。
キー操作ができない	ディスクによっては特定の操作を禁止している場合があります。故障ではありません。
アイコン ⊘ がスクリーン上に表示される。	下記の場合、機能が実行されません。 原因： １.ディスクのソフトウェアが制限している場合。 ２.ディスクのソフトウェアがその機能をサポートしていない場合。 ３.この機能を現時点では利用できない場合。
画像が乱れる	ディスクが破損していることがありますので別のディスクを試してください。 早送り/早戻し時、多少乱れが出ることがありますが、これは故障ではありません。
フォワードとリバースでスキャンが出来ない	一部のディスクセクションでは、クイックスキャン、またはタイトルとチャプターのスキップを禁止していることがあります。 動画冒頭の警告情報やクレジットをスキップしようとする場合、常にスキップすることを禁止するようにプログラムされています。
本体にUSBメモリーやSDカードを挿入するとクラッシュする。 （認識出来なくなる）	挿入されたUSBメモリーやSDカードが 正規バージョンでない可能性があります。 正規品をお使いいただくようお勧めします。 本機がクラッシュを起こした場合は、 電源を切り電源コードを抜いて下さい。 再び電源コードを差し電源を入れて下さい。 正常な状態に立ち上がります。